

活動名：第13回福島空港公園杯フットサル大会

日程：令和元年11月16日（土）～17日（日）

会場：福島空港公園 緑のスポーツエリア

参加：L100ブルー 7名（5年生：3名、4年生：3名、3年生1名）

帯同：渡邊コーチ（貝和コーチ）

報告：渡邊

結果：11位（15チーム参加）

予選リーグ

●安積第三SSS ●行健SSS ○常葉SSS

フレンドリートーナメント

○アーレT2 ●岩根SSS（B） ○アレグリア

まず、初めに、怪我をした選手が早く良くなることを祈っております。ご父兄さま怪我をさせてしまい、すみませんでした。

私が帯同した第13回福島空港公園杯フットサル大会について報告します。

結果は厳しいものでしたが、参加した選手は良い経験が出来ました。

今回のテーマも感動するプレー。全員が最後まで諦めずにプレーすることでした。

1 試合目

● 0-4 安積第三SSS

粘り強く守っていましたが、一瞬のスキをつかれ失点。その後は、良い形からシュートまで持って行くもシュートがゴールの枠を捉えられず、逆に失点。試合終了。

2 試合目

● 1-7 行健SSS

1試合目の反省をふまえ望んだ予選リーグ2試合目。この試合に勝たないと上位トーナメント進出が絶望となるため、選手のモチベーションも高く、いい状態で試合に入ることが出来ました。少しずつですが、味方選手のポジションを意識するようになり、みんなが連動してビックチャンスを迎えるも得点ならず。逆に先制点を許し、0-1で前半終了。後半は、点を取りにいくため攻撃的にいきましたが、点が取れず逆に失点。その後1点取り返すも試合終了。

2試合目は点が入らないという状態が続きました。

3 試合目

○ 3-0 常葉SSS

攻守の切り替えが遅く、なんとか勝った試合でした。3試合目ということで疲れが出てきたのか、動きが悪かったです。4年生と3年生がのびのびとプレーしていたのが印象的でした。

初日の感想

3試合感じたことは、ハイプレッシャーの状態では、自分たちの力を出し切れない。

やはり、トラップ、ドリブル、キック最低この3つは、どんな状況でも常に100%発揮できるよう練習することが必要と感じました。

フレンドリートーナメント

1回戦

○ 1-0 アーレT2

失点することなく、最後まで集中してプレーしていました。

2回戦

● 1-2 岩根SSS(B)

怪我人が出てしまい、システム変更をして戦いました。一人ひとりが責任をもってプレーしていました。チャンスを決めることが出来ず惜敗。全選手やりきった試合でした。

11位・12位決定戦

○ 2-1 アレグリア

全員が最後までやり続けました。その結果です。仲間を信頼し、ボールを渡し、受けた側も責任と勇気をもってチャレンジする。みんなが連動し、より良く試合をするため、自分たちが楽しくサッカーをするために意見を出し合い、考え・判断した結果の勝利でした。

2日の感想

初日は、相手に先制点を許してしまい、点を取りに行かなくてはいけない状況となり、結果として点が取れずにフレンドリートーナメントになってしまいました。

2日目は、気持ちを切り替えて敢闘賞を狙い戦いに望みましたが、2回戦で敗退。決めるときに決めきれない。ちょっとプレッシャーがかかるとミスしてしまう感じでした。

感想

全体をとおして感じたことは、正直過ぎる。次のプレーが相手に読まれている。もっと自分たちがプレーしやすくするために“相手を騙す”ということ。選手たちには、自分のアイデアを実現するためのスキルを身につけて欲しいと思います。プレッシャーの無いときでは十分プレーできるが、少しプレッシャーがかかると思うようにプレー出来ない。

選手たちは、多くのチャンスを生み出すことができました。あとは最後の仕事。ツメが甘く白星を取りこぼした結果、優勝を逃してしまったのは、私の反省点です。

最後になりますが各チームの保護者、コーチ、大会運営の(公財)県都市公園・緑化協会 空港公園関係者の皆様、二日間ありがとうございました。

コーチ：渡辺







